

Step

～破～

Step～破～

野間中学校 第2学年
学年通信 第15号
平成30年10月5日発行

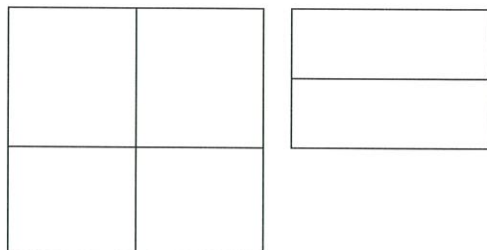
良いスタート パート3



《先生の勉強方法⑤》

【近藤眞澄先生】 「勉強方法の工夫」

- ①レポート用紙を用意して、4分の1か2分の1に小さくする。何枚も用意してまとめる。
- ②1枚に勉強する部分の要点をまとめる。
- ③字はあまり小さくしない。
- ④たくさん書かない。
- ⑤教科ごとにそれを作る。→めくって覚える。
→繰り返す→ゲーム感覚で覚える→楽しくなる



《先生の勉強方法⑥》

【野崎紘史先生】 「まずは目を通す！」

- ・社会…TVや新聞、雑誌等で知らない地名が出てきたら、地図帳で確認していた。すぐに成績に結びつくわけではないが、自分の中で知識として残しておけば、後々に役立つかも。
- ・国語…教科書をもったら、一通り目を通していった。つまらない長文はとばしてもOK。一つでも面白い長文があれば、そこから国語が好きになるかも♪
- ・全教科…教科書や副読本、資料集などはもらった時に、ざっと目を通す。少しでも興味をもてる単元があれば、それをきっかけにその教科が好きになる。
(好きになるサイクル)
- ・興味をもつ → 調べる → 少し好きになる → 少し勉強するようになる → 成績がちょっとあがる → さらに好きになる → 興味がわく ※繰り返し

《先生の勉強方法⑦》

【日比登史男】 「広く、たくさん使おう」

- ①広告等の紙をたくさん用意して、裏が白いものを使う。
- ②重要な語句(教科書で太字)を抜粋して書いていく。
- ③何度も書く。
- ④書いた言葉と言葉の隙間がなくなるくらい書く。
- ⑤教科書の言葉をすべて覚えるくらい読み返す。
- ⑥計算問題を解く場合も、広く大きく使って解いていく。遠慮はいらない。いらぬ紙だから、間違っても消す必要もない。消しゴムも減らない。エコ。

《先生の勉強方法⑧》

【磯部紀子さん】 「どっちの道に行く？」

- 小学校低学年時代
「宿題のない学校」ってことで、勉強がしたい人はするけれど、何もしなくても誰からも何も言われない時代を過ごしてきた。でも時々親から言われる「勉強しなさい」。でも、何をどうやってやればいいのか？教科書を開いて見ている？読んでいる？あれ？あれれ？
「どうして眠くなるのだろう？」
- 小学校高学年時代
周り自分と見比べることができるお年頃になり、「私も勉強ができるようになりたい」と思うように。早速成績上位者をリサーチ♪
「へえ～塾か。」その塾に行き、「入れて下さい」と直談判。そこで、勉強するうちに「分かる」、「解ける」ことの楽しさを実感した。その塾は、元教師の先生が復習を中心に授業をしていた。
- 中学校時代
新しい環境になり、また一人で勉強する状況になり、「……(汗)」自由な学校から管理教育の学校に転校してカルチャーショックもあり、2年がまたたく間に過ぎてしまおうとしていた。中学校3年の数学で今まで苦手と食わず嫌いだっただ図形の問題の面白さに気付く。考えている時の集中力、閃いたときの快感。私って数学得意かも！？その後、高校で単なる「普通のことのできただけ」の現実が目が覚めました。
集中する快感は高校時代の学習合宿や日頃の読書でも経験し、今に至る。
- 大学時代
ここで新しい学問に出会い、今まで予想もしなかった分野に進んだ。それが今の自分の基になっている気がする。できないことを練習するのは辛い。まず練習する場所に自分を置くだけでも労力が必要だから、できれば楽で手軽なことだけしてきたい。でも大きな喜びはできないことを何度も練習し、できない自分と戦った先にしかないみたい。簡単にできることの先には小さな喜びしか味わえない。しかし、できなかったことができるようになって、また新たなできないことに出会うんだよね。これを苦痛とするか楽しいと考えるかで、また道が分かれるのかな。

《先生の勉強方法⑨》

【木村教頭先生】 「秘伝木村流丸暗記術」

- ①各教科ごとに毎日1ページと学習すべきノルマを決める。
- ②紙に重要な語句や自分の知らない語句を5回ずつ書いて暗記する。
- ③2日目は2ページ目と昨日学習した1ページ目も同様に5回ずつ書いて暗記する。
- ④3日目も同様に1ページから3ページまでを暗記します。
- ⑤慣れてくると今まで学習した内容は書かなくても頭の中に残っています。
これは心理学者エビングハウスの理論を応用した学習方法です。これで必ず丸暗記ができます。

※学校のwebページにも掲載しておりますので、ご確認いただくと幸いです。

